

外観



高松市街や瀬戸内海を一望できる小高い丘の上に立つ高松空港旅客ターミナルビル。四国のゲートウェイとしての役割を果たしている。

到着ロビー



おもてなしの心を伝えるためデジタルサイネージを積極的に取り入れ、国内外から到着するお客様を出迎える5カ国語のウェルカムサインを導入。合わせて観光地の情報も発信している。

女性トイレ



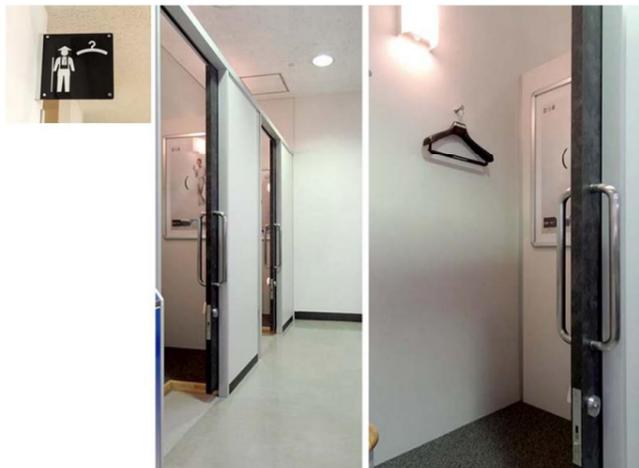
ブース内のスペースをできるだけ確保するため、前出が少ないフラッシュタンク式パブリックコンパクト便器を採用。約20秒で次の洗浄が可能になるため、混雑緩和にも貢献している。

男性トイレ



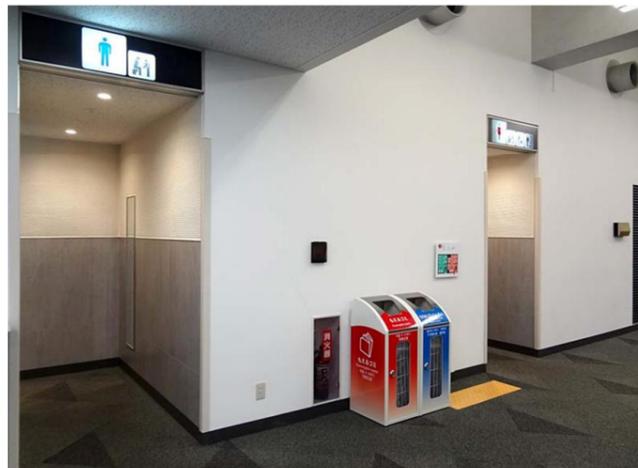
小便器は、尿石付着やアンモニアの発生を抑制しながら、大幅な節水を実現する自動洗浄小便器UFS900を採用。高い清掃性を実現している。

お遍路さん着替えブース



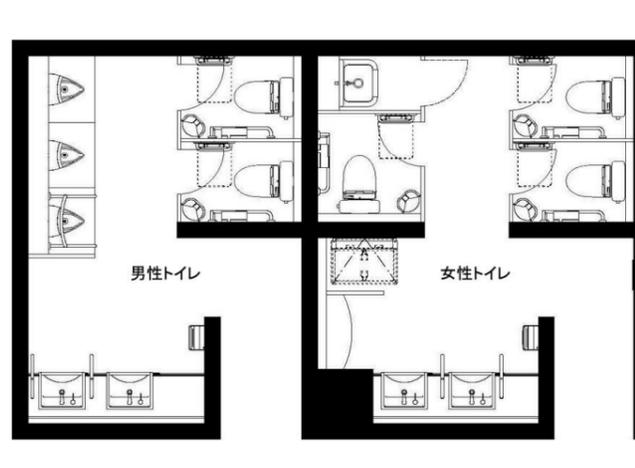
高松空港ならではのおもてなしの心を表現するスペース。空港内には、お遍路さんのための着替えブースやお休みスペースも整っている。

トイレ入口



トイレの入口には、視覚障がい者のための点字配置図を掲示。通路の腰壁部分は、スーツケースなど大きな荷物による壁の擦過傷を防止するため、1m40cmの高さまで耐久性の高い床用シートを貼っている。

トイレ図面



お子様連れのお客様への配慮として、男性・女性トイレともに、すべてのブース内に手すり、ベビーチェア、フィッティングボードを設置。

喫煙室



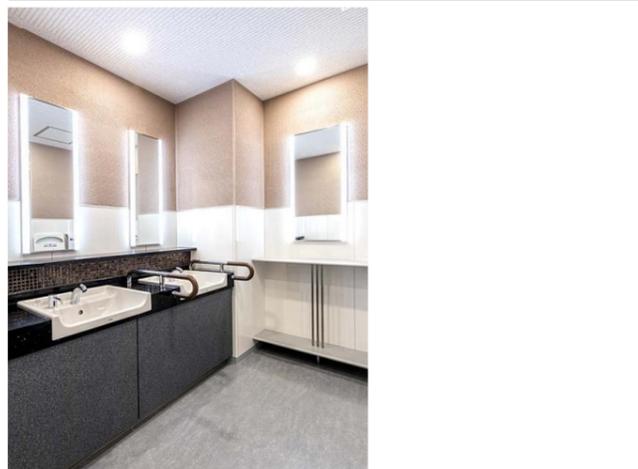
空港内の喫煙コーナーには、光触媒を利用した優れた清掃性と熱やキズへの堅牢性を兼ね備えたハイドロセラ・ウォールを採用。快適な喫煙環境を創出している。

女性トイレ



空間に広がりを与えるため天井を10cm高くし、照度は既存の約3倍に設定している。インバウンドのお客様に配慮し、京都市公開の「外国人観光客向けトイレの使い方啓発ステッカー」を掲示。

女性トイレ



洗面器は、手洗い位置がカウンター面より低く、周囲への水はねを低減できるL350を採用。また、化粧直しの際、顔に影が出ないように両サイドに照明が付いた化粧鏡を設置している。

建築概要

名称	高松空港旅客ターミナルビル
所在地	香川県高松市香南町岡1312番地7
施主	高松空港ビル株式会社
設計	高松空港ビル株式会社
施工	株式会社合田工務店
改修期間	2016年10月~2016年12月

水まわりの特長

<施設の概要>
 高松空港は、1989年12月に、旧高松空港から、高松市内中心部から南方15kmの香南台地に移転・開港された。香川県で3年ごとに行われている瀬戸内国際芸術祭の効果もあり外国人のお客様が急増していることから、5カ国語表示サインの設置や、総合案内所の中四国地域の空港では初めてとなる日本政府観光局（JNTO）の「カテゴリ3」取得など、ハード・ソフトの両面からさまざまな取り組みを行っている。

<トイレの特長>
 高松空港旅客ターミナルビルは築後28年を経過していることから、老朽化対策としてさまざまな設備の改修を実施しており、今回のトイレ改修では、「誰もが使いやすい、明るく清潔で安全なトイレ」をコンセプトに設計を行った。まず、プライバシー性を高めるため仕切りブースを天井まで立ち上げ、腰壁を汚れや傷がつきにくい材料とするとともに、腰壁上部はインバウンドのお客様の増加を踏まえ、「和」の雰囲気を醸し出すため左官仕上げの珪藻土壁とした。また、LED照明器具や汚れの付きにくい節水・コンパクト型便器を採用し、入り口には点字案内板、内部には聴覚障害者のため火災時等に閃光が点滅するフラッシュライトを設置している。